



デザインの始まり
最古の石器と
ハンドアックス



The Oldest Stone Tools
and Handaxes
— the Dawn of Design

KGA6-A1 0100
175 万年前のハンドアックス
エチオピア、コンソ出土
Handaxe at 1.75 million years ago
Konso, Ethiopia

2018 5/11(金) — 5/31(木)

休館日：5月13日(日)、5月27日(日) 時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで) 入館料：無料

早稲田大学
大隈記念タワー
(26号館)10階 125 記念室

主催：早稲田大学高等研究所、東京大学総合研究博物館 共催：早稲田大学文化推進部文化企画課、早稲田大学文学部考古学コース、早稲田大学先史考古学研究所
協力：エチオピア文化観光省文化遺産調査保全庁、コンソ古人類調査隊、チョローラ調査隊、ゴナ古人類調査隊、ミドルアワッシュ調査隊

デザインの始まり 最古の石器と ハンドアックス

The Oldest Stone Tools and Handaxes
- the Dawn of Design

アフリカ、とりわけエチオピアは、人類の出現からホモ・サピエンスの誕生に至る化石記録が連綿と出土しています。人類は、遅くとも260万年前には恒常的な石器作りを開始し、以後石器は人類史の99%以上の期間にわたって、彼らの主要な道具であり続けました。本展では、最古の確固たる打製石器、最古の「デザイン」された石器、出アフリカを果たしたホモ・サピエンスの石器など、世界水準の資料を紹介し、石器テクノロジーの変遷から人類の進化史を辿る旅にご案内いたします。

260万年前の世界最古級の打製石器
エチオピア、ゴナ出土



人類が作り始めた
最初の石器!

デザインされた
石器の出現と洗練化!
美意識の萌芽?



130万~140万年前のハンドアックス
エチオピア、コンソ出土

175万年前のハンドアックス
エチオピア、コンソ出土

50万~70万年前のハンドアックス
エチオピア、ガルサリ出土

世界中に拡散した
ホモ・サピエンスの
祖先集団の石器!



8万~10万年前の槍先
エチオピア、アドゥマ出土

5.12^S_A, 5.19^S_A, 5.26^S_A
14:00-15:00 開始5分前に125記念室にお集まりください。

佐野 勝宏 早稲田大学 高等研究所 准教授



5.20^S_{UN} 13:30-16:10 入場無料 事前申込不要
会場：大隈記念講堂小講堂

- プログラム
- 13:30~13:40 ご挨拶
 - 13:40~14:40 諏訪 元(東京大学)
「エチオピアの古人類調査、人類進化史、そして石器」
 - 14:40~14:50 休憩
 - 14:50~15:20 佐野 勝宏(早稲田大学)
「デザインの変遷に秘められた石器テクノロジーの発達」
 - 15:20~15:50 加藤 茂弘(兵庫県立人と自然の博物館)
「初期人類の遺跡の年代をどのように決めたか?」
 - 15:50~16:10 質疑応答



アクセス

- 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 125記念室
- 東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩5分
- 都電荒川線 早稲田駅から徒歩5分
- JR 山手線・西武新宿線 高田馬場駅より徒歩20分
- バス：[学02] (高田馬場駅発) 早大正門停留所より徒歩1分

お問い合わせ：03-5286-2460
<https://www.waseda.jp/inst/wias/news/2018/02/19/4935/>